

作者プロフィール

柚木 文夫氏 千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成2年退官 1958年防衛大学卒

宇都宮アルプスー手近のアルペン体験ー



宇都宮アルプス遠望

2月下旬、地元の知人F君の案内で宇都宮アルプスに出かけた。宇都宮市街北郊の榛名山・男山・本山・飯盛山・高館山・黒戸山・兜山の篠井富屋連峰が、別名宇都宮アルプスの愛称で山仲間に親しまれる連山である。

前夜は宇都宮泊。宇都宮ギョーザをサカナに痛飲した。翌朝9時15分、宇都宮からのバスを一里塚で下車、二日酔いの頭を抱えて登山口の「子どもの森公園」まで歩いた。子どもの森は宇都宮市制百周年記念公園とかのなかなか立派な施設である。公園園地最上部の登山口到着が9時45分。

最初は杉林の中のゆったりした登り。八合目付近から、踏み跡に凍てついた残雪が出てくるが気にする程でもない。10時半主稜線に顔を出し、先ず西方向にある榛名山を20分かけて往復した。次いで尾根筋に沿って東に幾つか小起伏を過ぎると男山。男山から若干下った後、岩場を一登りして11時半、本山山頂に到着した。ここが、この連峰の最高点(562m)である。若干の展望タイムの後、



本山山頂(遠景は高原山)

飯盛山との鞍部まで下るとちょうど12時。日だまりを楽しみながらお待ちかねの弁当休憩をとった。次に登る飯盛山が、ここからは見上げんばかりに立ちはだかり、ウンザリさせられる。しかしこの連山は、どのピークも、山頂付近が狭

い岩稜状を成しており、アルペンムードが楽しめるのが嬉しい。宇都宮アルプスとはよく名付けたものである。12時40分、F夫人手作りの弁当にも堪能し、重い

腰を上げて出発。一汗かいて13時飯盛山頂。この頂上は雑木に囲まれ残念ながら展望はゼロ。続く頂上直下の降りがかなり長いザレ場の急傾斜。垂らしてあるロープを団体さんが占領しており、順番待ちにすっかり時間を取られた。13時半、やっと急降下が終わり林道を横断する。後はなだらかな登



飯盛山からの降り



高館山から眺める日光連山

りで14時高館山。平坦で広い山頂は見晴らし絶佳である。朝から辿って来た山々が手に取るように見えた。はるかに表日光の連山も光り輝いて眺められた。

最後は黒戸山、兜山と過ぎて山を下り、中徳次郎のバス停に到着したのが15時半だった。



兜山から振り返り見た宇都宮アルプス